

2015年9月17日 全6頁

Indicators Update

8月貿易統計

先進国向け輸出を中心に軟調

エコノミック・インテリジェンス・チーム
エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2015年8月の貿易統計では、輸出金額は前年比+3.1%と12ヶ月連続の増加となった。しかし前月の同+7.6%からは減速しており、市場コンセンサス(同+4.3%)を下回っている。輸入金額は同▲3.1%と8ヶ月連続の減少となり、貿易収支は▲5,697億円と5ヶ月連続の赤字であった。
- 今月の結果は、海外需要の停滞が継続していることを確認させる内容であった。モメンタムは最悪期を脱しているが、当面は軟調な推移が予想される。とりわけ米国では原油価格下落やドル高が企業部門の重石となっており、米国向け輸出の主力製品である資本財の不調が当面続く可能性には注意が必要だ。
- ただし先行きの輸出は、強弱入り混じりながらも緩やかな回復基調に復するだろう。米国では家計部門を中心に底堅い景気拡大が続いており、耐久財を中心に輸出の増勢回復が見込まれる。欧州向け輸出については原油価格下落やECBによる量的緩和の効果などから持ち直しており、基調としての回復・拡大が継続するだろう。アジア経済に関しては、中国の預金準備率引き下げや利下げなどによる实体经济の底上げが確認され始めており、一段の需要減少は回避される公算が大きい。

図表1：貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2014年		2015年						
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸出金額	12.8	17.0	2.5	8.5	8.0	2.4	9.5	7.6	3.1
コンセンサス									4.3
DIR予想									3.5
輸入金額	1.9	▲9.1	▲3.6	▲14.4	▲4.1	▲8.6	▲2.9	▲3.2	▲3.1
輸出数量	3.9	11.1	▲2.1	3.2	1.8	▲3.8	0.0	▲0.7	▲4.2
価格	8.6	5.3	4.7	5.1	6.0	6.4	9.5	8.4	7.6
輸入数量	▲1.8	▲6.3	4.5	▲10.3	0.1	▲5.3	▲1.4	▲2.9	▲0.7
価格	3.8	▲3.0	▲7.7	▲4.6	▲4.2	▲3.5	▲1.5	▲0.2	▲2.4
貿易収支	▲6,656	▲11,738	▲4,285	2,227	▲593	▲2,206	▲744	▲2,684	▲5,697

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

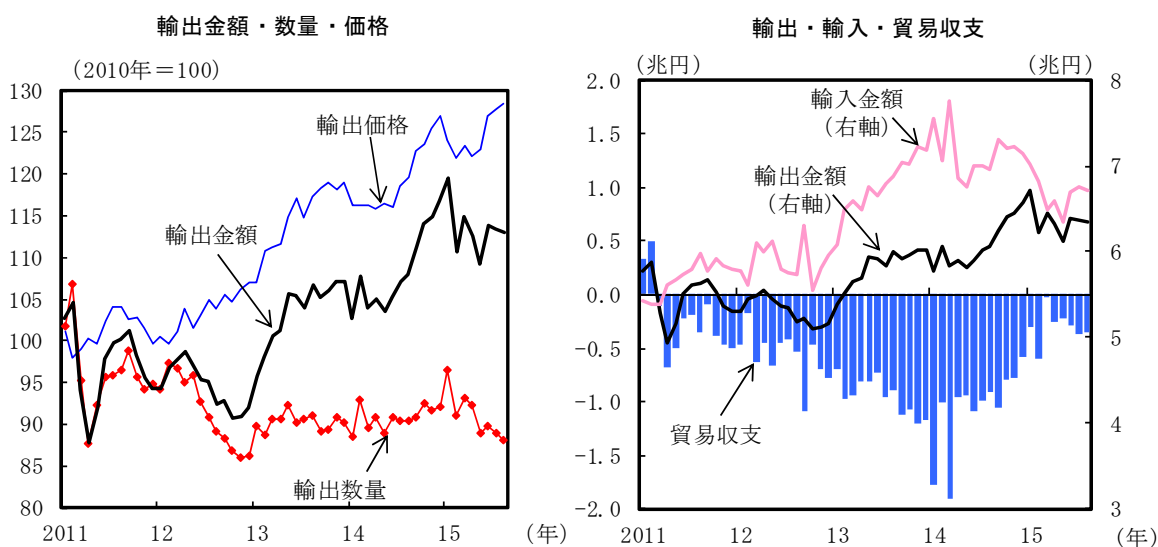
輸出数量の減少が続く

2015年8月の貿易統計では、輸出金額は前年比+3.1%と12ヶ月連続の増加となった。しかし前月の同+7.6%からは減速しており、市場コンセンサス（同+4.3%）を下回っている。輸入金額は同▲3.1%と8ヶ月連続の減少となり、貿易収支は▲5,697億円と5ヶ月連続の赤字であった。

輸出金額の伸びの鈍化は輸出数量の伸び悩みが主因である。輸出数量は前年比▲4.2%となり、前月の同▲0.7%からさらに減速した。輸出価格の伸びは同+7.6%と前月（同+8.4%）から小幅に減速した。

輸入金額を価格要因と数量要因に分けて見ると、輸入価格は原油価格の下落を主因として前年比での低下が続いており、前年比▲2.4%となった。輸入数量は同▲0.7%となり、4ヶ月連続の低下であった。輸入金額は前月の同▲3.2%から低下幅が若干縮小しているが、季節調整値でみた輸入金額は前月比▲0.6%と2ヶ月ぶりの減少となっている。

図表2：輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



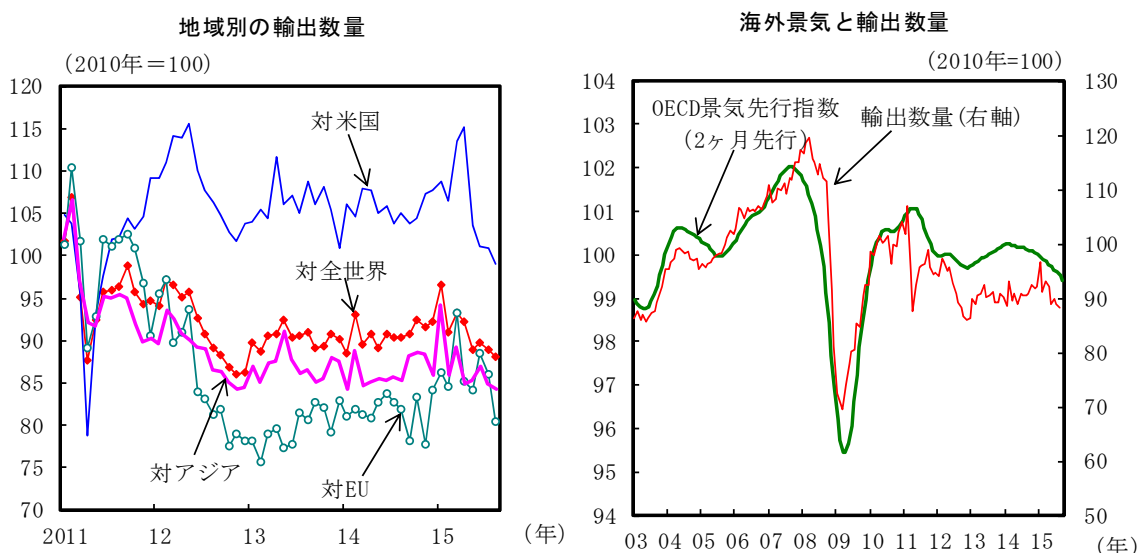
(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

先進国向け輸出を中心に軟調

季節調整値で見た輸出金額は前月比▲0.4%となった。輸出数量は同▲0.9%となり（季節調整値は大和総研による）、2ヶ月連続の減少となっている。輸出数量を地域別にみると、とりわけEU向け（同▲6.6%）の落ち込みが大きい。特殊要因とみられた前月の船舶や鉄鋼の大幅増が剥落した影響も減少に寄与しているが、年初来好調を維持してきた自動車の落ち込みは気がかりである。米国向け（同▲1.7%）輸出も同国の企業部門の弱さを反映して、資本財等を中心に冴えない。他方、天津港での爆発事故や金融市場における動揺の影響が懸念されたアジア向け輸出数量は同▲0.6%と小幅なマイナスにとどまっており、最悪期を脱しつつある可能性が示唆されている。

今月の結果は、海外需要の停滞が継続していることを確認させる内容であった。モメンタムは最悪期を脱しているが、当面は軟調な推移が予想される。とりわけ米国では原油価格下落やドル高が企業部門の重石となっており、米国向け輸出の主力製品である資本財の不調が当面続く可能性には注意が必要だ。ただし先行きの輸出は、強弱入り混じりながらも緩やかな回復基調に復するだろう。米国では家計部門を中心に底堅い景気拡大が続いており、耐久財を中心に輸出の増勢回復が見込まれる。欧州向け輸出については原油価格下落やECBによる量的緩和の効果などから持ち直しており、基調としての回復・拡大が継続するだろう。アジア経済に関しては、中国の預金準備率引き下げや利下げなどによる実体経済の底上げが確認され始めており、一段の需要減少は回避される公算が大きい。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



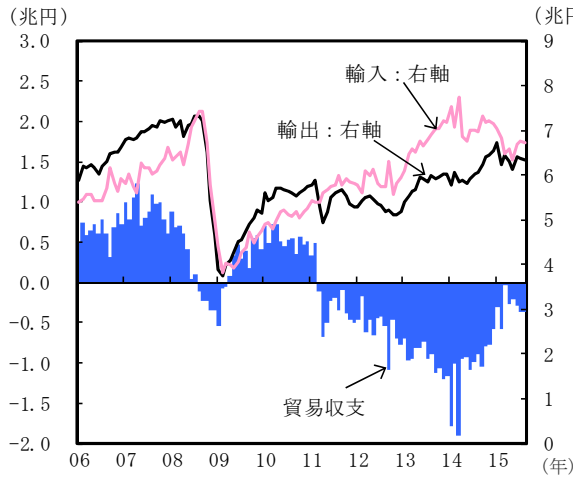
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

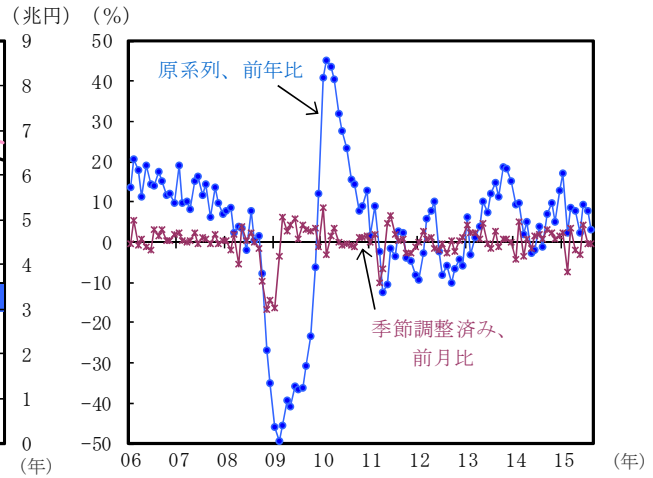
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

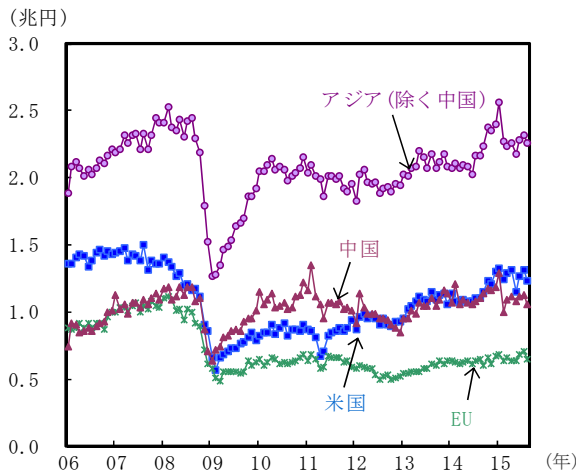


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

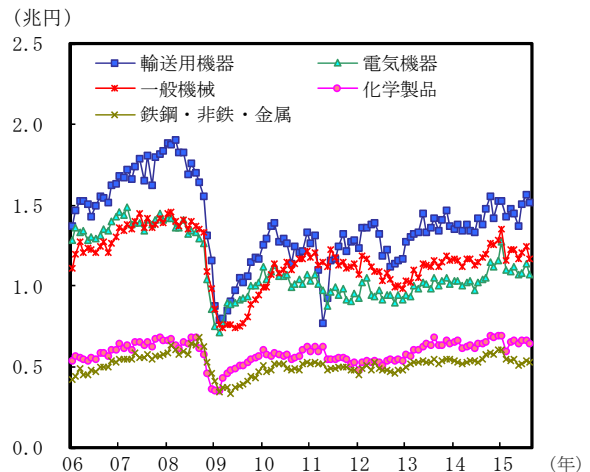


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

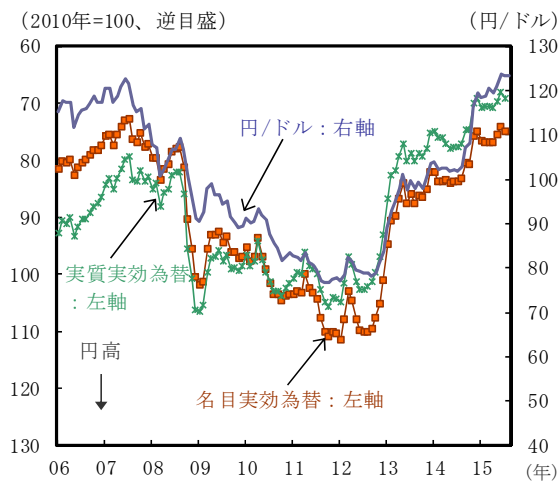


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

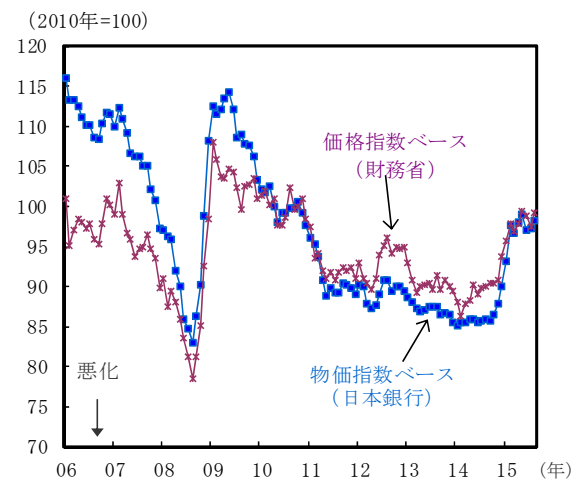


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2015/03	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07	2015/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.5	8.0	2.4	9.5	7.6	3.1	100.0	3.1
食料品	27.8	30.1	22.2	22.9	26.1	18.0	0.8	0.1
原料品	5.7	2.8	2.4	2.3	▲12.2	▲5.4	1.5	▲0.1
鉱物性燃料	▲37.6	▲16.0	1.3	▲5.6	▲7.8	0.1	1.9	0.0
化学製品	5.4	5.7	1.9	8.4	2.3	0.2	10.7	0.0
原料別製品	5.2	3.1	▲4.8	▲0.6	2.6	▲3.1	12.7	▲0.4
鉄鋼	0.7	5.3	▲6.7	▲8.0	0.0	▲8.2	5.0	▲0.5
非鉄金属	10.1	▲3.2	▲6.0	3.8	5.0	1.8	2.2	0.0
金属製品	7.3	4.8	2.0	5.3	2.6	2.8	1.7	0.0
一般機械	10.3	4.9	0.6	7.2	8.3	▲0.5	18.9	▲0.1
電気機器	8.5	9.0	4.4	11.3	10.5	2.4	18.2	0.4
半導体等電子部品	12.4	11.5	11.8	14.9	9.0	3.9	5.8	0.2
I C	12.3	11.2	13.8	16.8	10.4	4.8	4.0	0.2
映像記録・再生機器	▲26.1	▲5.6	▲10.9	18.6	27.3	▲27.6	0.5	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲2.3	11.8	11.2	11.4	24.9	7.2	0.6	0.0
電気回路等の機器	9.8	7.1	2.5	5.8	5.0	▲2.7	2.5	▲0.1
輸送用機器	10.1	5.8	2.2	12.3	10.4	9.5	22.1	2.0
自動車	10.5	7.3	0.2	17.0	9.6	11.1	14.6	1.5
自動車の部分品	6.5	2.0	▲1.7	2.4	3.4	▲2.0	4.4	▲0.1
その他	17.8	28.3	10.5	20.5	11.5	9.1	13.1	1.1
科学光学機器	5.8	▲0.1	▲0.9	▲0.0	▲1.8	▲7.4	3.2	▲0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2015/03	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07	2015/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	21.3	21.3	7.4	17.6	18.8	11.1	100.0	11.1
食料品	26.0	61.9	16.9	24.7	▲1.4	4.6	0.7	0.0
原料品	17.8	5.5	▲2.4	19.6	▲49.3	22.9	0.6	0.1
鉱物性燃料	2.6	▲19.7	502.9	18.9	93.4	▲39.8	0.2	▲0.2
化学製品	20.5	20.0	3.5	26.0	37.7	19.7	6.3	1.2
原料別製品	18.5	29.0	9.2	9.8	8.1	3.7	7.4	0.3
鉄鋼	1.9	30.9	3.8	▲5.2	▲6.0	▲6.0	2.0	▲0.1
非鉄金属	64.9	42.3	35.5	16.8	6.9	▲14.1	0.5	▲0.1
金属製品	14.4	27.7	6.4	0.1	14.5	8.5	1.7	0.1
一般機械	23.1	14.0	3.5	15.9	8.2	5.8	22.8	1.4
電気機器	19.4	10.5	2.9	13.9	18.5	7.3	14.8	1.1
半導体等電子部品	22.7	22.3	15.1	18.2	17.2	4.7	2.1	0.1
I C	11.4	5.4	▲2.8	5.1	3.6	▲11.7	1.0	▲0.1
映像記録・再生機器	▲6.3	30.5	20.5	68.4	69.2	▲4.3	0.9	▲0.0
音響・映像機器の部分品	15.0	1.2	14.5	16.5	49.5	▲8.3	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	20.8	12.1	▲4.7	10.0	12.7	0.7	1.5	0.0
輸送用機器	21.9	12.8	10.4	19.4	25.1	14.5	36.4	5.1
自動車	27.5	15.8	18.1	24.5	33.1	21.4	26.3	5.1
自動車の部分品	14.0	5.8	▲8.1	1.5	3.6	▲7.2	5.6	▲0.5
その他	20.8	88.7	11.2	20.6	23.8	20.2	10.6	2.0
科学光学機器	8.2	5.5	11.0	1.4	8.4	8.5	2.3	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2015/03	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07	2015/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.1	0.8	0.4	10.8	10.0	▲0.2	100.0	▲0.2
食料品	8.8	14.2	35.3	31.2	58.8	19.1	0.4	0.1
原料品	▲10.6	0.7	32.3	0.2	1.6	▲0.1	1.0	▲0.0
鉱物性燃料	▲41.0	284.7	▲58.3	177.2	▲45.6	▲27.7	0.4	▲0.2
化学製品	3.0	10.5	3.0	8.6	7.3	0.9	9.5	0.1
原料別製品	10.4	▲3.0	0.5	5.4	22.1	▲4.5	7.4	▲0.3
鉄鋼	21.7	2.6	▲9.9	20.7	117.1	▲23.5	1.0	▲0.3
非鉄金属	42.3	30.4	38.0	53.0	29.7	14.3	1.0	0.1
金属製品	14.2	▲1.5	15.3	4.2	8.0	▲11.4	1.4	▲0.2
一般機械	2.5	▲5.1	▲2.2	▲5.8	5.5	▲7.5	25.1	▲2.0
電気機器	▲3.1	▲0.6	▲3.8	4.3	7.8	▲1.6	19.5	▲0.3
半導体等電子部品	▲10.3	▲9.0	▲20.0	▲4.6	▲13.8	▲3.1	2.9	▲0.1
I C	▲20.2	▲18.9	▲32.6	▲16.1	▲17.8	▲12.4	1.6	▲0.2
映像記録・再生機器	▲51.2	▲49.8	▲36.0	22.9	9.0	▲6.1	1.0	▲0.1
音響・映像機器の部分品	46.4	68.6	27.7	26.0	16.0	▲8.1	0.6	▲0.1
電気回路等の機器	▲7.7	▲9.4	▲4.4	▲2.3	7.3	▲0.1	2.0	▲0.0
輸送用機器	18.2	10.2	▲2.3	33.8	22.9	7.3	21.8	1.5
自動車	9.2	5.6	▲10.3	17.1	13.6	▲3.0	13.6	▲0.4
自動車の部分品	15.4	0.6	5.9	27.0	22.7	36.6	5.8	1.5
その他	33.1	▲4.5	11.1	21.3	▲2.7	7.1	15.0	1.0
科学光学機器	3.7	▲7.0	▲0.8	12.3	14.5	5.5	3.5	0.2

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2015/03	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07	2015/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	6.7	6.0	3.3	10.1	6.1	1.1	100.0	1.1
食料品	31.7	27.5	18.8	20.9	31.0	18.9	1.1	0.2
原料品	5.2	1.1	0.4	1.6	▲9.1	▲10.5	2.2	▲0.3
鉱物性燃料	▲39.9	▲29.6	▲27.0	0.6	▲15.2	▲19.5	1.9	▲0.5
化学製品	5.9	4.5	3.3	8.3	▲0.5	0.0	14.5	0.0
原料別製品	5.2	1.6	▲5.9	▲0.2	1.9	▲4.2	15.7	▲0.7
鉄鋼	▲0.5	2.1	▲9.5	▲7.2	▲2.6	▲9.7	6.5	▲0.7
非鉄金属	20.5	1.9	▲2.5	6.7	10.1	5.3	3.5	0.2
金属製品	4.5	▲0.3	▲0.8	6.3	3.8	▲0.6	1.8	▲0.0
一般機械	4.8	4.0	0.6	10.8	12.7	0.4	17.7	0.1
電気機器	8.6	9.9	7.8	13.1	10.8	2.4	22.6	0.5
半導体等電子部品	14.8	13.1	15.4	16.6	10.9	4.4	9.1	0.4
I C	14.8	13.9	18.9	20.0	13.1	6.8	6.5	0.4
映像記録・再生機器	▲24.6	0.6	▲16.1	▲2.2	21.6	▲49.4	0.3	▲0.3
音響・映像機器の部分品	▲13.5	1.1	10.6	21.0	17.6	10.8	0.6	0.1
電気回路等の機器	9.2	7.1	3.7	5.2	2.5	▲4.7	3.4	▲0.2
輸送用機器	12.3	1.2	7.5	11.6	▲0.9	9.0	8.9	0.7
自動車	2.6	▲1.9	▲3.5	10.6	2.2	18.5	4.5	0.7
自動車の部分品	▲2.5	▲1.0	0.4	▲2.3	▲0.1	▲8.2	3.2	▲0.3
その他	14.8	20.5	13.7	20.0	12.5	6.5	15.5	1.0
科学光学機器	5.5	2.3	▲0.4	▲0.4	▲4.4	▲10.6	4.1	▲0.5

中国向け輸出金額 内訳								
	2015/03	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07	2015/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	3.9	2.4	1.1	5.9	4.2	▲4.6	100.0	▲4.6
食料品	70.8	55.6	31.9	37.8	17.9	24.7	0.4	0.1
原料品	10.4	10.3	9.7	14.1	▲15.4	▲10.4	3.1	▲0.3
鉱物性燃料	40.3	▲34.1	▲7.9	▲42.3	41.8	▲46.5	0.6	▲0.5
化学製品	8.2	7.3	3.4	7.0	▲1.4	1.1	15.6	0.2
原料別製品	10.7	0.4	▲5.4	3.3	2.4	▲5.6	13.4	▲0.8
鉄鋼	▲5.3	▲2.8	▲5.0	▲1.4	▲6.3	▲14.8	4.1	▲0.7
非鉄金属	52.5	4.8	▲9.4	9.9	17.7	6.6	3.6	0.2
金属製品	▲1.0	2.2	▲2.0	7.1	▲1.1	▲5.4	1.8	▲0.1
一般機械	2.9	▲3.6	▲0.7	7.4	11.8	▲0.8	19.1	▲0.1
電気機器	6.7	8.3	3.6	10.5	9.3	▲6.5	23.2	▲1.5
半導体等電子部品	13.4	13.1	7.6	14.2	▲1.5	▲12.6	7.8	▲1.1
I C	26.2	24.3	15.1	25.3	1.8	▲10.5	5.7	▲0.6
映像記録・再生機器	▲36.4	27.3	▲17.1	17.4	58.1	▲76.7	0.3	▲0.8
音響・映像機器の部分品	▲35.4	▲11.5	▲10.2	▲19.5	19.5	16.2	1.2	0.2
電気回路等の機器	6.3	3.7	▲0.2	0.3	0.5	▲10.5	3.6	▲0.4
輸送用機器	▲30.6	▲24.2	▲19.5	▲11.7	▲13.5	▲13.7	9.1	▲1.4
自動車	▲49.6	▲49.9	▲43.8	▲15.8	▲15.9	▲5.0	4.5	▲0.2
自動車の部分品	▲14.8	▲2.9	▲1.1	▲10.7	▲13.9	▲21.2	4.4	▲1.1
その他	11.1	20.3	16.5	15.1	10.9	▲1.1	15.3	▲0.2
科学光学機器	3.5	4.8	0.2	6.8	▲4.9	▲9.5	6.9	▲0.7

(出所) 財務省統計より大和総研作成